

時系列毎 用度湯川とのやり取り。

前提として発注を行い足りない場合は用度湯川が取りに行くからという事で内務で仕事を依頼される。

ゴールデンウィーク前に客室チーフ亮さんから用度湯川より浴衣の在庫カウントを依頼される。

清掃が客室タオル類、シーツ、ハウフ、ピローカバーのカウントを担当。  
ゴールデンウィーク中発注を頼まれる。

数の出し方が分からない為、客室チーフ亮さんや係さんに使用する枚数などの目安を聞く。

発注ガイドライン作成→発注数を決めた。

用度に提出。

ゴールデンウィーク中に数が足りない為取りに行き行って貰う事に。  
この時は偶数日に白洋舎が来て奇数日は来ないとなっていた。  
6/20現在はこの業者の日程が逆になる。

ゴールデンウィーク中リネン類が足りなくなったさなか、湯川が「何で俺が取りに行かなきゃならねえんだ」と文句を言う。元々、内務で発注なんかやった事がない前提なのに話が違ふと思った。

とりあえず忙しい日は過ぎた事もありガイドラインも作成して用度の湯川にも伝えたし亮さんにはlineで伝えたからOKだと思い、発注の仕事が離れたと思う。

2, 3日して、リネンの数が足りない等の依頼が湯川から直接来る。依頼される時間が業務終了30分前でタオル類とハウフ・シーツの依頼をされる。数日後、清掃が数が足りないという。また、その翌日も。どうもおかしいと思い、朝一で湯川に言われてハウフ・シーツを計算する。清掃の間と湯川の目の前で私が、「お客さんの人数40人に対して約100枚ずつあるのに足りないのは何を根拠に足りないとおっしゃてるのですか？」と湯川と清掃の前でカウントしたメモを目の前にみんなに伝える。

5月は休み明けで出勤するたびにいらん残業を渡される。何で毎回14時半等に足りないとか言ってくるんだらう。就業時間30分前に行う作業ボリュームではない。発注は用度の仕事のはずなんだけど。はっきり言ってもうんざり。カウント出来るのが私しかいないという事でいろいろやっているが無理。というかガイドライン渡して計算出来ないってチンパンジーか？と思う。

発注でガイドラインを元に発注数を出したら400という数字が出てきた。そしたら湯川が言うには白洋舎から(宮城野の現場？よくわからないが。)こんな数は無いと言われたそうだ。こちらとしては多い場合はあらかじめ数字で出してというから出ただけなんだが。

湯川が言うには強羅花壇と白洋舎の付き合いは価格が安い為、だんだんと強羅花壇の融通を聞かせてくれることが無くなってきたそうだ。そして、白洋舎の現場にはあって200ぐらいしかない

らしい。強羅花壇の総数として約バスタオルにしても500くらいとの事だ。じゃあ、コンスタントに100~200を週末に備えてとればいいですね。と話がまとまる。用度と一度話がまとまる。

それでも多いだの少ないだのクレームが来る。私が出勤している時や休んでいる時も電話が来る。もういい加減頭に来たのでチーフに相談した所、初めの1・2回はチーフを通して来たけれど、他は個人的に依頼してきたとの事。

5/28

余りにも不自然な事が多すぎるので、別の担当さんの時に、発注書と納品書を見せてもらって、現場も確認した。そうすると、発注された数が納品されていない事が発覚して、これも客室チーフに報告。line用と証拠にスマホで発注書と納品書を撮影。また、今まで発注していた数字も勝手に書き換えてFAXを送って提出していた。別の日に業者に再度発注かける時に「他の人間が発注しくじったから」と電話口で話しているのも聞いたら責任逃れだと思った。この事実をどう処理するか？という問題が出てきた。毎朝リネンの横を通過してて自分で確認もせず、他人に任せっきりで周りで足りないという声だけ拾って文句だけ言っていたのが発覚。憤慨した。

チーフ自身も対応しかねるとの事なので、総務部長に内務としての業務とキャパオーバーの事、現在の価格(時給)ではやってられない旨を伝えた。業務の優先順位など。総務部長は「お前の愚痴を聞くつもりもない」と一蹴してきた。それでは意味がないので、私は今まで作成したマニュアルとガイドラインなどの資料を元に内務としては発注業務を行う事自体おかしいと伝えた。やるにしてもどの業務を優先させるのか？という。時間があって手が空いているなら手伝う事は出来る。ただ、それを超える業務を渡されても困ると。

それについても、発注を「簡単に考えろ。」と総務部長は言ったが、それでは発注をやれと言っている事なので、「発注をやるんですか？やらないんですか？」の2択を延々と突き返した。しれっと業務を渡されても困るからだ。

そして、時給に関しては上げられないとの回答、発注に関してはやらないで、但し浴衣のカウントのみとの話に落ち着いた。内務としての業務はカウントになったが、個人としての業務の交渉は決裂。話は終わったと思った。結果をチーフに報告。

同日、用度湯川から呼び出し、数を数えて発注数を出して欲しいと言ってきた。ぬけぬけと言ってきたので、もう総務部長との話は済んだので仕事の依頼ならチーフを窓口にしてください。と突っぱねた。でも話を聞いてほしいなどしつこく食い下がってきて、うっとおしかった。何より聞いててうんざりしてきたのが、ガイドラインについてはもう伝えてある認識だったのに全く話を聞いていなかったという事。そして、ガイドラインを渡したにも関わらずその紙すらみていなかった事。ガイドラインに掛け率や数字を出していたにもかかわらず、そして、ガイドラインの紙を渡していたにもかかわらず、自分(湯川)で係さん(しのぶさん)に聞きに行つて2度手間を食っていた事。何より、総務部長若梅から私が出したガイドラインの掛け率の数字で初めからOKを貰っていてそれでやっていいと言われているにもかかわらず散々文句を言いまくり、手間をかけさせて面倒事を起こして、用度としての仕事を何にもしていなかった事。

その数日後、白洋舎が大量のバスタオル等を持ってきた。私が発注した数で来ていないものを白木さんがFAXしていたと思っていたが、湯川の言い分だと「白洋舎がめんどくさがって持ってきた」と普通の業者の業務の考え方としてはありえないと思った。ただ、その総量を見る限りだと、

500以上はゆうにあるように見える。現場にはそんなない等言っていたくせに、業者は持ってきた。

発言していたことの辻褄が全てあわない。

リネンの総量がそんなに無いと言っていたのに来た。それに対して湯川は「白洋舎がめんどくさがっていっぺんに持ってきた。」といい。作業がしづらく引き取ってもらおうといていたが、引き取りに来た形跡も量が減った形跡も全部無かった。

別の日湯川は白洋舎側には発注者が数を間違えたと言っていた。両方に悪口を言っているがこいつ何のつもりだ？